

令和 4 年度 学校関係者評価報告書

学校法人成松学園 認定こども園 成松幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康な身体と美しい心で いつまでも健やかに。
- ・やさしく思いやりのある心情を培う。
- ・5領域に沿い自主、自律、協調性に富む意欲を養う。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育の在り方	教育方針を理解し、保育内容や指導計画作成に活かすことができた。 幼児への対応も個別的な指導計画のもと、丁寧な保育ができた。
2	保育士としての資質や保育の質の向上	園の方針に則り、教職員一同協力して知識や技術の獲得のための研修を重ねて、日々の保育の中に反映できた。 さまざまな研修会に積極的に参加して、保育技術の向上に努めた。
3	保護者への対応	配布プリントや行事の機会等、園の保育方針を伝え信頼関係を構築した。 HP で行事内容の状況・変更を伝えることができた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりではなく、さまざまな課題（特にケガ・病気）を見出すことができた。今後もより良い園経営のために継続して実施していくことを共通理解した。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	地震・水害・医療などの災害に備えて、マニュアルで危機意識の向上を図る。
2	地域との連携強化	地域に愛される園を目指して、地域との連携に一層努める。
3	教職員間の協力	学年に関係なく他学年の指導計画も把握し、協力体制を強化する。 「気になる子」の共通理解を深める。

6. 学校関係者の評価

教職員の熱心な指導のもと、子どもたちがのびのびと自分を出せる環境で生活している様子がみられた。幼稚園の教育方針も一人ひとりを大切にしたきめ細かい保育がなされ、子どもを中心に置いた園づくりがされている様子は大変好ましい。また、保育の質の向上のために多くの研修にも参加しているので、今後はその内容を保育に反映して行ってほしいと願う。人権教育についての研修を積極的に参加したい。

7. 財務

公認会計士により適正であると認められている。

学校関係者評価委員 理事長 成松 道博
学校関係者評価委員 評議員 村端 博信
学校関係者評価委員 園長 成松 克江

委員会実施日

令和 5 年 3 月 1 日